



巻頭座談会

# とうかい温故知新

【後編】

## 歴史遺産、旧町名を考える

古きよき町の名前は、土地の歴史と文化を物語るもの。

このゆたかな歴史遺産が、合理化優先の町名改正や、近年の町村合併により失われつつあります。町の名前とともに失くしてしまった、地域のつながりや郷土愛を取り戻したい。その方策を考える「後編」です。

◀愛知県図書館蔵「尾張名所図会」より「四月十六日夜 魚の棚賑合」(部分)  
「魚の棚筋」は名古屋市中区丸の内界隈、図中の提灯に旧町名「長者町」が見られる



下垣真希さん

ソプラノ歌手  
名城大学大学院・名城大学講師



西羽 晃さん

桑名市文化財保護審議会会長



北見昌朗さん

(株)北見式貸金研究所所長  
社会保険労務士



伊藤 巧さん

宝石・貴金属『居東屋』会長  
名古屋市中区区政協力委員



伊藤 巧さん

宝石・貴金属「居東屋」代表取締役会長  
名古屋市中区政協力委員  
1936年春日井市生まれ。中区栄1丁目(旧南園町)在住。中区の旧町名復活を  
目指し、活動中。日本の伝統文化を継承し  
たいと本店4階に能舞台を設け、自らも能  
をたしなむ。

### 町名改正で失われたもの

名古屋市は昭和37年に制定された「住居表示に関する法律」に基づいて、40年代はじめて町名改正を実施しました。

歴史ある町の名前とともに失われてしまったものがありますか。

**伊藤** 新町名は通りを境に区分したんです。ニューヨークの真似ですね、ブロックごとに区分けする。残念なのは、昔ながらの人間関係も通りを境に途切れちゃったことです。

旧町名時代は、道を隔てても「隣近所」、「向こう三軒両隣」という、町名に基づいた連帯感があったものですが。



▲三重県桑名市・石取祭  
春日神社の馬場修理のため、町屋川から石を運んだのがはじめ。宝暦年間(1750年代)から続く。本祭は8月第1日曜日。30数台の祭車が鉦や太鼓をいっせいに打ち鳴らし、「日本一やかましい祭」と言われる。  
写真提供=桑名市観光課

町というのは通りを中心におたがいに交流して、競争して、発展するんですよ。

今、そうしなくなってきたから、まちづくりの原動力も落ちてきて。

桑名市は、昭和37年の「住居表示に関する法律」が対象にした「人口10万人以上の都市」に当てはまらなかったため江戸時代の町名が残りましたね。

こういう町では、地域の連帯も根強いんですか。

**西羽** 桑名市には『石取祭』という夏の祭りがあって、町ごとに祭車を出すわけです。

これは、それぞれの町が積み重ねた財産ですし、アイデンティティというか、「俺の町はこうだ」と張り合う気持ちも強いんですね。

「隣町に負けるか」という意識、名古屋にもないですか。

**伊藤** かつてはありましたよ。よその町には負けるなといってね、結束が強かった。

『名古屋まつり』は神社の祭礼と関係なく、県と市と名古屋商工会議所共催の商業イベントとし

料亭 つたも 葛茂

名古屋市中区栄3-9-27 (住吉通り)  
〒(052)241-3666 無休  
http://www.tsutamo.com

補聴器のリケン 59年の経験と実績の専門店・全国に84店舗

理研産業補聴器センター

名古屋本店 中区大須4-10-20 ☎(052)261-1313  
ナゴヤ駅前店 第3堀内ビル4F ☎(052)581-3456  
大曾根店 大曾根本通(駅すぐ) ☎(052)919-0331  
星が丘店 星ヶ丘バスセンター東 ☎(052)788-2002  
松阪補聴器サロン 名古屋店北館4F ☎(052)264-1582

ご宴会はじめご会合お催し  
会議楽屋弁当など  
随時ご用命どおり調整いたします。  
ご予約受付中

**民吉割烹 八雲**

〒461- 名古屋市中区東桜二丁目16番25号  
0005 ☎(052)932-2800・0660

<平日・祭日> AM11:00~PM2:00 PM5:00~PM10:00  
<日曜日> AM11:00~PM10:00 ・無休

て昭和30年に出発しましたから。  
**伊藤** 本来、祭というのは民がやるものですよ。企業や行政が予算つけてやるものじゃない。

名古屋も昔は、町ごとに豪華なお祭の山車があったんです。

それを誇りに、「隣町に負けるか」と。「もっと稼いで、来年はもっと豪華なのを作ろう」と。だから町が発展したんです。

わが町への愛着が、人の魂を沸騰させる町おこしの原動力になっていると思うんです。

それを失くしてしまつたら町は沈下していきますよ。

### 地域のつながりが町の活気を育てる

**下垣** 昔、「名古屋は白い街」って歌が流行つたように（『白い



おまさ 北見昌朗さん

### 株式会社賃金研究所代表 社会保険労務士

1959年生まれ。名古屋出身。中学時代の担任の影響で歴史好きに。「歴史に学ぶ経営」をテーマにした著書多数。最新刊「愛知千年企業 江戸時代編」では災害や恐慌に打ち克つてきた名古屋商人の「根性」を著す。明治編 大正編も続刊予定。

街』石原裕次郎・昭和42年）、インパクトがないんですね、名古屋は。

今のお話をうかがっていると、人と人との濃密な結びつきがない町だからかなと感じます。

郷土の歴史や、地域のつながりに執着が薄い。だから昔ながらの町名が失われても関心がない。

**北見** 失われた自覚がないんじゃないですか。失われたことを知らない世代が大半ですから。

記号のような新町名では、ふるさとへの愛着が育たないから、人材や企業も定着しません。

それじゃ経済だつて支店経済になつていきますよ。

今や、名古屋創業の銀行もデパートも本社は東京になつてしまつて、名古屋は支店でしょう。

全国区の栄えある名古屋じゃなくなりつつある。

**西羽** 三重県では四日市市がそうですね。

明治以降、どんどん発展して、石油コンビナートができて、会社や工場もできましたが、本社は東京。まさに支店経済です。

**下垣** そう、「四日市」と聞いても町の姿が思い描けないですよ。それに對して桑名は昔ながらの町並みが残つていて、風情のある街だなあという印象があります。

**西羽** 先ほどお話しした桑名の「石取祭」は、比較的、古いかた

調料理・日本料理



鯛めし楼

名古屋市中区錦二丁目18番32号  
 電話 (052) 211-6355

ORIGINAL HANDBAG

SASAYA

サカエチカ店 ☎971・2357

広い ゆったり **東** ヒーリング

SUSHI AZUMA JAPAN  
 サカエチカ街 ☎052-971-2126

あずま ずしほんてん  
**東 鮮 本 店**

<http://www.azumazushi-honten.com>



にしは あきら  
西羽 晃さん

桑名市文化財保護審議会会長  
1936年神戸市生まれ、三重県桑名市育ち。和歌山大学卒業後、桑名市に戻り、家業のかたわら郷土史研究を続ける。「くわな歴史と文学を語る会」代表幹事、「三重郷土会」副会長。地域文化功労者、桑名市文化功労者。

ちを残しております。

京都の祇園祭のように観覧席をつくって見せたりしない。

「見たければ勝手に見よ。祭の主役は自分たちだ」という気概で町衆が祭を守っているんです。

一方、四日市には10月に諏訪神社の祭礼があって、「大入道」の山車が出るので有名なんです。これがいつの間にか、神社に関係ない8月の催事にも出るようになってしまった。祭でなくてイベントですね。

支店経済になって、よそから人がたくさん来て、地元の人の方がりが薄れたことのあらわれかなと思うんです。

下垣さんが長く生活された下伊ツはいかがですか。

核家族化が進んではいませんが、毎週末、必ず家族全員が集

まって、みんなで街や森を歩くんです。

そうやって常に自分たちの足で、ふるさとを確認しています。

そして、お父さんお母さんが街の歴史や史跡の謂れを子どもたちに伝えるんです。

日本では希薄になってしまった、「街と自分の関わり」が息づいています。

昔のものを頑固に守り続ける強さと健全さを感じますね。

伊藤 アイデンティティですな。

下垣 ヨーロッパは外国と陸続きですから、ほかの民族が攻めてくることもありま

す。意識して、頑固に守っていないとアイデンティティや郷土が失われてしまいますから。

日本は周りが海のせい、都合の悪いことは水に流すし、忘れ去るのが得意のようですね。歴史に対する畏敬の念が薄いというか。

とくに名古屋は海に面しているから(笑)。

伊藤 結局、名古屋は豊かなんですよ。気候がおだやかだし、地形にも恵まれてお米もとれたから、

これまでそんなに競争しなくても、十分に生活できたんです。

下垣 豊かさはともすれば人間の心を緩ませ眠らせます。

危機感がないまま、歴史を忘れて、昔の価値観を捨て去っている。町も人も活気を失くしてしま

# 源 流 の 屋 敷

昭和区南分町1-28 ☎052-853-1841  
事務所 ☎052-853-4911  
月曜日、月一度(月・火)連休有

# あんぶさん 銘 三 銘 羅 創業 文政元年 伊藤 大 口 屋

本店・愛知県江南市布袋町中67番地  
☎(0587)56-3067 ☎0120-00-9781  
名古屋三越店B1F/セントレア銘品館  
JR名古屋駅中央コンコース内キヨスク

東区東桜1丁目14-25 テレビア14階・15階  
ホテルオークラ レストラン

中国料理 桃花林  
鉄板焼 さざんか

TEL (052) 201-3201

<http://www.hotelokuranagoya.com/>

いますよ。

## 金沢市の旧町名復活に続け

—金沢市は全国で初めて旧町名復活を実現させています。

平成11年に「主計町」、翌年には「飛梅町」と「下石引町」。

その後も「柿木島」、「袋町」など、これまでに11の旧町名が復活しています。

町を愛する住民の心意気と行政との長年にわたる連携が市政を動かしたんですね。

金沢経済同友会も働きかけたそうです。経済界も地元経済の転機になると考えたんでしょうね。



しもがまき  
下垣真希さん

### ソプラノ歌手

名城大学大学院講師 名城大学講師  
鳥根県生まれ、岐阜県下呂市育ち。愛知県立芸術大学卒業後、ドイツ・ケルン国立音楽大学へ。在学中よりドイツ国際ラジオ局DJとして活躍。近年は、命と平和の尊さを伝えるコンサートや講演で感動の輪を広げている。2008年、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。8月6日にCD「平和ををリリース。FM愛知「下垣真希のSKOアワー」(土曜日18時〜18時半)パーソナリティ。

**下垣** 金沢のように歴史や文化を大事にしている町の人たちでも、古いものを捨ててしまうと町が弱体化するという危機感を持つてるんですよ。

復活した旧町名の由来を読むとワクワクしてきますね。

「下石引町」は「金沢城の石垣を築くため、戸室山から切り出した戸室石を引いて運んだ道筋であったのでこの名がついた」なんて、歴史にはたまりませんね(笑)。

**伊藤** 名古屋も動き出さなければ。どういうかたちで実現したらいいと思います？

**北見** 先日、僕が発行した名古屋城下の古地図(20ページ写真)は、「東日本大震災の義援金1000円を募金してくだされば差し上げます」ということにしました。これまでに500枚、配布しましたよ。

礼状が何通もきましたね。旧町名をご存知の年代の方が、「旧町名復活運動やってくれるなら、私も参加するからよろしく!」って。個人の力が集まれば大きな動きになりそうですね。

**伊藤** やはり署名でしようね。その町に住む人の声を集めて、行政に働きかけるのがいちばん主体的で力があると思いますね。

「隣町に負けるな。うちの町が先に復活させるぞ」という気概で署名を集めてもらって(笑)。

カフェ・イタリア料理  
**リスタランテ・エスト**  
 RISTORANTE **EST**  
 〒465-0063 名古屋市長東区極楽1丁目7番地  
 TEL052(704)4455  
 火曜日定休

しぐれ煮の  
**SHINKUROU-KAISHIN**  
 新幹線地下街エス力  
 松坂屋名古屋店  
 JR名古屋高島屋

有本

千種区日岡町1-9  
 ☎763・3807  
 11時30分〜14時  
 17時〜21時  
 月曜・第三火曜定休

民の力を結集して行政を動かさない。と。  
**西羽** 上から主導するんでなく、下から世論が盛り上がりれば、政財界も動かざるを得ないでしょうね。

## 若い世代を巻き込め

——旧町名が復活したら喜ばしいですが、新町名しか知らない世代は戸惑いませんか。

**伊藤** 街中や駅での表示は、最初は旧町名と新町名を併用するのがいいでしょうね。

**北見** 「ここ、どこだったっけ？」なんて迷いながら覚えればいいんですよ（笑）。

そこから町に関心を持つことが始まるんですから。

**西羽** いまの若い人にはかえって新鮮なんですよ。

ご飯でも、かまどに火を熾して炊いて、「美味しい！」なんてやってみてはどうでしょう。

町名の謂れを知ったら「こんな素晴らしい町に住んでたのか！」てなもんでね（笑）。

**北見** 僕、アイパッド版『名古屋の街を歩く』というのを作ろうかと思ってるんです。



▲北見昌朗さんが発行した名古屋城下の古地図。江戸時代の地図に現在の地名を示している。東日本震災のチャリティーに1,000円募金すると入手できる。  
 関三洋書書店新開橋店 ☎052・871・3934

今、立ってる場所の写真が画面に出てきて、それをめくると同じ場所の江戸時代の画像が出る。

**一同** おもしろい!!

**下垣** 旧町名を知らない若い世代も視覚で「昔はこんな町だったんだ!」とわかるから、説得力がありますね。

**西羽** いま、若い人が古いものに憧れる風潮があるんですよ。

たとえば江戸の切絵図なんかがよく売れてますし。

タモリがやってますね、古地図を見ながら現代の東京を歩く、『プラタモリ』という番組。私も好きでよく見るんです（笑）。

今は江戸がブームですが、地方でも火がつけば流行ると思います。

**下垣** 若者も焦燥感はあるとは思いますが、自分たちに根っこがなくってフワフワしているという。

ゆかたや風呂敷が流行ったりして、昔のものを見直すようになってるのはアイデンティティを探してるんだと思います。



栄店 大治店 山手通店  
 勝川店 大東陽町店 日進通店  
 猫洞店 名東店 西尾店

女の演出 最新ファッションジュエリー

宝石の中日 牧野

名古屋市中区栄4-1-1中日ビル2F  
 TEL 264-4807

創業文政年間

菜めし  
 田 榮

きく宗

豊橋市新本町40番地 ☎(0532) 52-5473  
 営業時間・午前11時～午後8時  
 定休日・毎週水曜日

<http://www3.ocn.ne.jp/kikusou/>



▲宝石・貴金属の『居東屋』(名古屋市中区栄1丁目＝旧南園町／御園座前) 4階能舞台「聚光殿」にて

そういう意味でも「古い町名ってカッコいい」って飛びつくんじゃないかしら。

## 旧町名とともに 取り戻したいものがある

**北見** 名古屋出身の作家、城山三郎さんは「役人などの手で、戦後はいわば根こそぎ違う町につくり変えられてしまい、私には故郷がなくなつた」と悔しがつておられました。

町の名前を変えるのは歴史を消してしまふのと同じです。

旧町名が復活すれば、市民はもつと郷土に愛着を持つようになるはずです。

標識も名刺もホームページも書き替えるから、経済効果もありま

すよ(笑)。  
**下垣** 日本は歴史を精神的に引きずつてしまふのでしょうか。

戦争に負けたコンプレックスのような、負の遺産をいつまでも受け継いでしまふ。

その一方で、戦前の価値観はかなぐり捨ててしまったでしょう。

そうやって繁栄を求めて突っ走つてきたけれど、残つたのは空っぽな人間関係。砂上の楼閣を造つてきたような気がします。

でも、東日本大震災で被災された方たちの冷静で忍耐強い姿が世界中で賞賛されて、再確認したじゃないですか、脈々と受け継がれている日本人の精神の美しさを。

もう一度、日本人らしさに立ち戻らなくてはいけないときに、自分たちがどんな歴史の上に生きているかを知るのほすごく大事。

由緒ある町の名前は心のよりどころになると思いますね。

**伊藤** 今、旧町名に戻したら全国から「名古屋は素晴らしい」と注目されますよ。

私たちは、便利で快適な暮らしを謳歌しすぎていたと震災や原発事故で気づかされました。

旧町名のころ、今ほど豊かではなかつたけれど、創意工夫と人のつながりがありました。

旧町名とともに、そんな地域社会も取り戻すのが願いです。  
———  
ありがとうございます。

唯一無二を手彫りで

創業80余年の匠の技

印鑑 清光堂

名古屋市中区錦三丁目21-18  
TEL 951-3771 FAX 951-8636

寿司(しゃぶしゃぶ・ステーキ・せいろ会席)・ぶく料理・飛騨牛

まるさん

〒473-0912 愛知県豊田市広田町谷口7番地  
TEL.(0565)52-0400

営業時間/AM11:00~PM12:00 PM5:00~PM9:00  
定休日 /水曜日

<http://www.ganet.jp/marusan/>

創業六百七十余年

株式会社 味噌 八丁 まるや



〒444-0923 岡崎市八帖町往還通52  
TEL (0564) 22-0222 (代表)  
FAX (0564) 23-0172